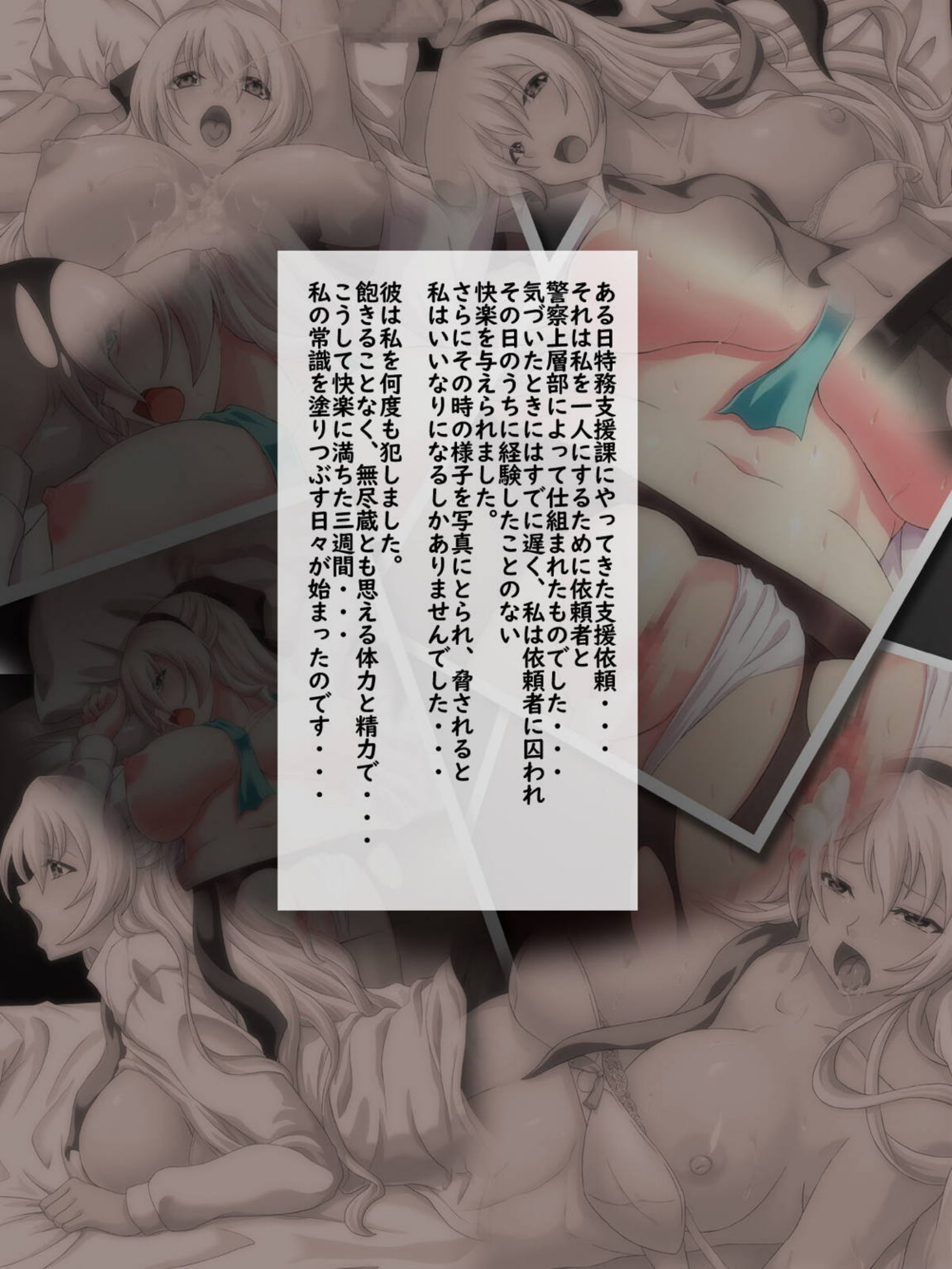


墮ちる軌跡 2





ある日特務支援課にやってきた支援依頼・・・
それは私を一人にするために依頼者と
警察上層部によって仕組まれたものでした・・・
気づいたときにはすでに遅く、私は依頼者に囚われ
その日のうちに経験したことはない
快楽を与えられました。
さらにその時の様子を写真にとられ、脅されると
私はいいなりになるしかありませんでした・・・
彼は私を何度も犯しました。
飽きることなく、無尽蔵とも思える体力と精力で・・・
こうして快楽に満ちた三週間・・・
私の常識を塗りつぶす日々が始まったのです・・・

あの日から私の日常は一変しました。

朝起きて最初に口にするのは彼のペニスになり

最初に喉を通るのは彼の精液になりました



その後はひたすらセックスです
まるでその形を私に刻み込むように
日が暮れても構わずやり続けます

私の中から彼のペニスが無くなるのは食事と彼が気まぐれにとる小休止の時だけ。日常のすべてが性行為と快楽に塗りつぶされていききました。



あああ

アッ

びるん

びるん

びるん

びるん

びるん

びるん

あああ

あああ

は

びるん

は

びるん

びるん

びるん

そんな生活が一週間程も続いたところ
彼は私を外に連れ出しました・・・

若手経営者の有志が主催の展示会というから
どれほどのものかと思ったが

中々のものじゃないか
キミもそう思うだろう？
ん？どうした？

キミ
キミ



だって・・・
こんな格好・・・っ

くくくっなに、堂々としてればわかりはせんよ
それより、ここにはワシが世話している
若者がいるからね、せいぜいバレないように
気を付けたまえ

かあ・・・っ

うう・・・っ



先生！来てくださったんですか！？

おお、久しぶりだのう
ま、少し様子を見に、な。

(や、やだ……本当にこの人の……？
お願い……バレないで……早く終わって……)

ありがとうございます！
え……とそちらの方は……？

うむ、新しくウチで採用した娘でね
ほら、リリイ君挨拶を

え……？あ……、そ、その……
リ、リリイです……よ、よろしくお願ひ、っっひっ

ビク
ビク

キリッ



えっと……どうかされましたか？

い、いえ……な、なんでもっあっつくうっ

(そんなっ……こんなところで……)

ん？おお、なにせこういうところは初めてだからな
ちよつと緊張しているのかもしれない……
大丈夫かな、リリイ君？

は、はい……だ、だいじよ、ひうんっ

(ああ、ダメ……ゆ、指が……
かき回してっ……こ、このままじゃ
イっちやうっ……こんな人前で……)

はあっんんんうう……

はあっんんんうう……

はあっんんんうう……

はあっんんんうう……



ふうむ、会場の熱気に当てられてしまったか？
もう少し堂々として欲しいのだがね

あつはっす、すみませ、んんっ

(早く終わって・・・はやく、はやく・・・)

あ、あの、あまり気分がすぐれないようでしたら
あちらに救護室もありますので

おお、すまんね、気を遣わせてしまって
まああまり無理のないようのんびり回るさ
さて、時間を取らせてしまったな
我々はそろそろ行くとするよ

はい！ありがとうございます！
またよろしくお願いします！

さ、リリイ君

は、はひ・・・し、失礼しまひゅ・・・



—— 人気のない通路で ——

んっあっ……そんな
乳首っ吸っちゃ……っ

あ……

ん……

声……出、ちやうう……

ちゅ……

あ……

く……

はっふうんっふうんっ

(うう……身体が
熱くなって……)

ふ……

(だめ……そんな
時間かけて弄らないで……)

くくくっずいぶんとい表情に
なってきたじゃないか

ア……

ア……

よし、そのままそこにしゃがむんだ

ここは人通りは少ないが
いつ誰が来るかわからんからな
せいぜい我慢したまえ

そうだ、しっかりと胸を使って挟むようにな

(うう……おっぱいでこんなことをするなんて……
あ……おじさまの臭い……だめ……この臭い
身体がどんどん熱くなってきちゃう……)

どうした、ちんぽをそんなに見つめて
欲しくなってしまうたかな？

あ……ち、違います……

まあ、どちらでもいいがな
ほら、早くしたまえ
人が来てしまうぞ？

△
△
△

おっぱい

おっぱい

んっっはあっ……

(おじさまのおちんぽ、すごく熱くてオスの臭いがどんどん濃くなってくるこれじゃ、人に見つからなくても臭いだけでバレちゃいそう……)

くっ、なんだ、ずいぶんと積極的じゃないか

っっは、早く……終わらせるため、です……

(そう……早く終わらせて……それから……っっ私っな、なに考えて……だめ……ああ……おじさまの臭い……何も考えられなくなる……)

ふふ、ではしっかり頑張りましたまえ

たろろ

むにむに

たろろ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

はあっはあっんんっ

(ああっおちんぽっ硬くて熱くてっ
あ、今びくって・・おじさまの射精の合図っ
だめなのにつ今出されたら人前に出られなくなるのにつ
止まらないっ止められないのお・・っ)

んっ

う、くっおお、よし出すぞ
しっかり受け止めなさいっ

(来るっおじさまの射精っ精液っ
私っこんなところでどろどろに汚されちゃう・・っ)

はあッ
はあッ

まっ
まっ

お
お

あ
あ

あ
あ

は
は

あ
あ

あ……

(おちんぽ……まだあんなに……
精液もまとわりついてすごくいやらしい……)

あ……

ドキ

ドキ

あ……

ぬちかああ

ドロオ

(くくくっ欲しくてたまらない顔をしておるわ
もう十分だな……)

そういえばさあ、さつき先生が連れてた
女の人ちゃんと見たか？

かあああ

ああ、なんかおどおどしてたけど
結構美人だったよな

まあそれもそうなんだけど
あの人下着付けてなかったよな

まじで!?

(つま、まさか・・・私のこと・・・バレて・・・)

ああ、なんか目のやり場に困ってさ
てか、あれ先生に調教でもされてたんじゃね？
確かすごい性豪で何人も女堕としてきたって聞いたことあるし

あーなんかそういう噂あるな
ってことはあの時もエロエロなことされてたってことか・・・
やべっ考えたら勃ってきちまったぜ

おどおど

まじ

(ほほう、締め付け具合が変わりおったわ・・・
くくっあいつらのおかげで面白いことになりそうだな)

んん!?

うんん!

(う、ウン・・・動いて・・・っ)

あーいいなあ、俺もあんな美人とやりまくりてえ

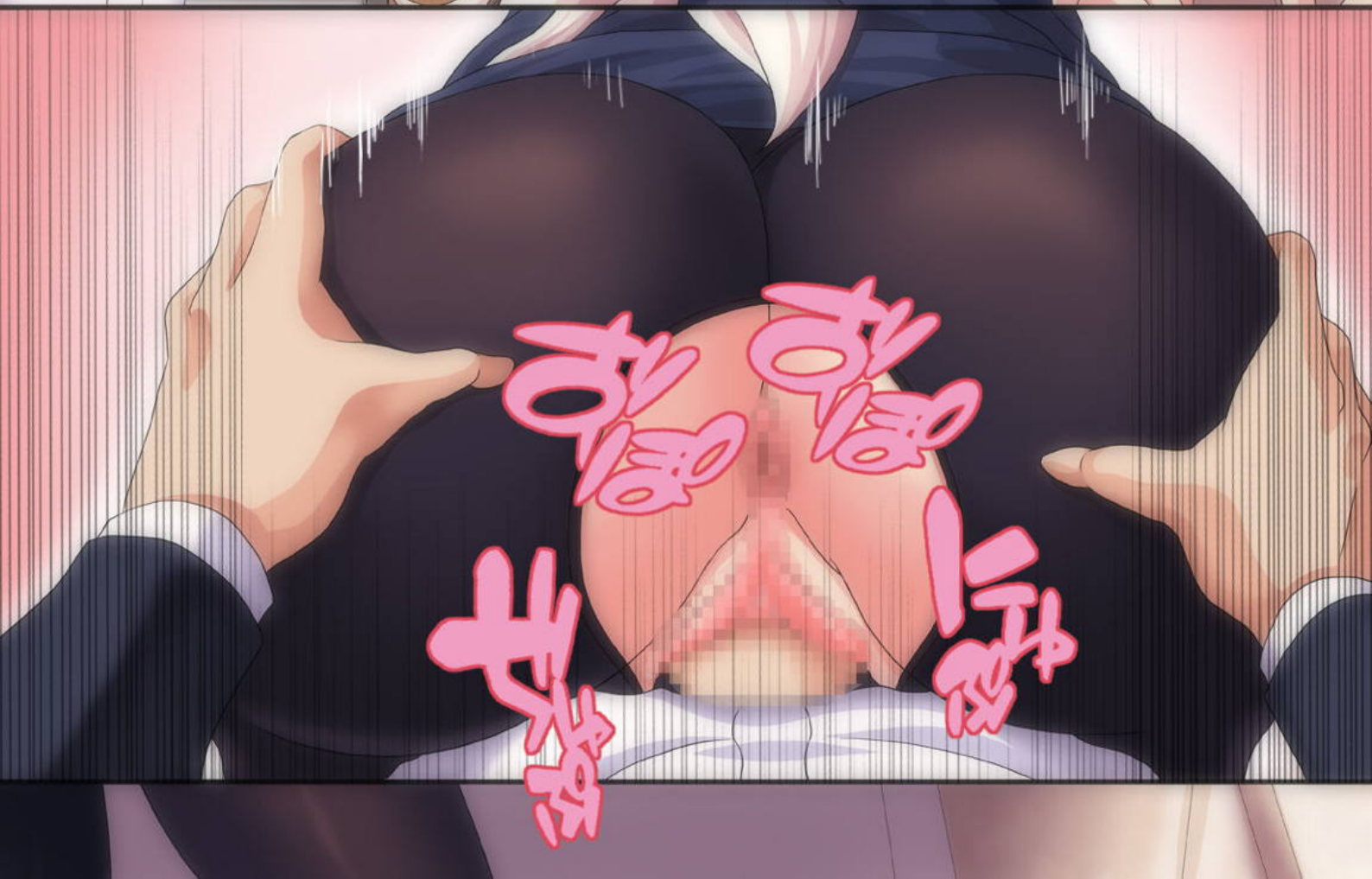
ははっまあ今はまだ我慢だな
ちやんと結果出して競売会あたり
に行けるくらいになればいずれそういう話も出てくるだろ

(いやあっそ、そんなに奥ばっかり擦られたらっ
っイっちやうっイっちやうっうううっ)

よおっし後半も頑張るかあ!
いっちよでかい商談まとめてやるぜ!

まったく調子のいいヤツだなお前
まあやる気があるのはいいいことだけどさ
よし、そろそろ行くか

(ああっはやくっはやくっお願いいっ
っイクっイクイクっだめええ)



んぐっふううっ

W
wii
??

んぐっふううっ

くくくっよく頑張ったな
もうあいつらは出ていったぞ
我慢したままイクのは辛かったろう？

(ああ・・・おじさまの意地悪
そんなに優しく言われたら私・・・)

ワシももう出すからな
思いきりアクメ決めなさい

(もう・・・我慢しなくていい・・・
そう・・・私頑張ったの・・・だから・・・
ああ・・・すごいのくる・・・きちやう・・・)

そらっイケっ



帰宅後、私はおじさまにとってもエッチな衣装を着せられました。

ふむ、良く似合っているじゃないか
ますます淫靡さに磨きがかかっている
極上の身体だよ

……そんなの……
嬉しくありません……

くくく、ついさっきは公共の場所
でアへってたクセにずいぶんと強情だ
ではこちらに聞いてみるとしよう

(ダメ……おじさまに触られるところ
全部気持ち良くなっちゃう……)

あっんんっあんっひうんっ

ふふ、さて
ベッドに行こうか
今日もたっぷり
可愛がってやるぞ

ああ……

あっんふううっ

はっはっはっ
こっちは正直だのう旨そうに吸い付きおって

んひいっあっダメっそこおっ

そうだなあ、こようやって奥を小突いてやるのが好きだものなあ

あめ

んっ

あっあっくひいっくうんっああんっ

(だめえ、奥ぐりぐりされると
気持ちいい波がすぐくて
何も考えられなくなる・・・っ)

くくくっワシが出すまでに何回イクかのお

ほっ!

ほっ!

ほっ!

ほっ!

ほっ!

ほっ!

んっ

んっ

あっイクっイクっ

またいったか、何回目だ？

なっなな、かいつですうっ

よしよし、ちゃんと数えているな
ご褒美に一番奥で出してやるからな

ああっそっそんなのっ
いっつもっ中に出してっ

はっはっは、そうだったなすまんすまん
だがこう言われるとどうしようもなく
身体が疼くだらう？

あっああっそんなんっそんなことっ

くっ強がっていてもわかるぞ
マンコの吸い付きが変わるからなあ

(ああ、全部バレてる・・・私の身体
おじさまに嘘つけなくなってるう・・・)



おっほおおおっでっ出てるうっっ
おっほおおおっでっ出てるうっっ
おっほおおおっでっ出てるうっっ

ふふ、これで八回目か・・・
最初の中だしまでにいった回数では
一番多くなったなあ

あっんっふううう・・・

少しばかり意地を張ったところで
場所も選ばずにイキ狂える身体だ・・・
そろそろ素直になっただらどうだ？
自分を解放して楽しめば
もっともっと気持ち良くなれるぞ？

あ・・・んっ・・・

(わたし・・・わたしは・・・)



う……ん……

どうした？
また初めのころのように
狂わされたいか？

ハイハイ……
M……

(ひどい……どっちにしたって
狂わされるのに……
でも、それなら……
言ってしまったって、楽に……)

セ……セックス、すきい……

んん？なんだ、ちっとも聞こえんぞ
もっとなんと言わんか

クキッ
クキッ

フキッ



ああっ好きです！
セックスすきいっつ！

お前を気持ちよくしてくれるのなんだ？

あま

おちんぽっおちんぽおっ

そら、もう一度行ってみろ
誰の何が好きなんだ？

おちんぽっおじさまのおちんぽ好きです！
セックス好きいっつ

(好きって言うたびにドキドキする・・・
難しいこと、全部なくなっていくみたい・・・
いいのかな・・・もう、これで・・・)

ようし、よく言えたな、そら、ご褒美だ



好きっ♡おじさまっおちんぽさまっ♡
セックスすきいっ♡
イクイクイクうううっ♡♡♡

くく、セックスで潮を吹くようになったか
これからが一層楽しみだわい

ワシももう出すぞ
メスになった証の種付けアクメ
しっかりキメなさい



ほおおっつきたあっつおっくうっ
イグっイっでるのにつっ
まらイグううううううううっ

んまぶ
ほまぶ

はっはっはっ
その調子だ

ふああ・・・イクっ
イグのとまらにやいいいっ

何も考えずイけ、イキまくれ
それでこそワシのメスというものよ

はいい・・・メスっ
わらひはっ・・・おじしやまのおっ
メスになりまひたあっ



あつはひえ・・・
せいえき、あつたかい・・・

(ロイド・・・大丈夫だから・・・)

しゅきい・・・なかだし・・・
セックスしゅきい・・・

(私・・・ちゃんと、支援任務できてるから・・・)

ほれ、呆けてる場合じゃないぞ
まだまだ先は長いのだからな

・・・はい、おじさま♡



あんっまだ硬い……♡

当然だ、お前の身体は
何度抱いても飽きないからな

んっ嬉しいっ♡もっともっと
おじさまを感じさせてください♡

くっ可愛いヤツめ
言われずともそうしてやるわい
お前もしっかり動くんだぞ？

はいっおじさま♡
エリイでいっぱい射精してください♡

あ……♡

ゆっ

ゆっ

ぬちゅっ

ぐちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

あんっおじさまっんちゅっちゅっ
ぷはっああんっおじさまあっ♡

ふふ、腰をくねらせてがっつきおって
そんなに欲しいか？
そろそろ疲れているだろうから
気を遣ったんだがな・・・

はいっくうんっ優しく擦られるのもいいけどおっ
やっぱリガツガツ奥掘って欲しいですっ奥の奥まで
おじさまのオチンポ感じていたいっ♡
せーしいっぱいっ出して欲しいのっ♡

はっはっはっお前にそこまでねだられてはワシも弱いのお
では行くぞ、気をやっても止めないから覚悟しろ

ああ嬉しいっきてっおじさまっ
エリイをめちゃくちゃにしてえ♡♡

ぎゅっ♡

ぬちゅ
ぐちゅ

じゅっ

あああつしゅごつあつおつ♡
しゅごいいきもつちいっつああんっ
あつイクっイクイクうううっつ♡

それそれイっても休ませんぞ

ああんっ
イクっイクっ

はおおっしゅごっ♡
まらイクうううっあつらあつ♡
バカになるっバカににやるうううっつ♡

何を言ってるか、もうなっているだろう
ワシとのセックスしか考えられんバカにな

ああんごめんやしやいっつなってますっ♡
わらひっバカなめしゅになっれましゅっ♡
イクっイクっイクうううっつ♡

ようし、ワシも出すからな
お望み通り奥でしっかり受け止める



おっほおっせーしっ
おじさまのせーしっ
しゅごいのお・・・♡♡

ふふ、気をやることもなく
嬉しそうな顔をしておって
お前もすっかり本物の淫乱になったな

あつんっ
はあ・・・♡

あつんっ・・・はあ・・・♡
はい、わたしはおじさまの前では
淫乱でバカなメスですからあ・・・
おじさまの前でただだからあ・・・
♡♡

それでいい、ワシの前でだけ
可愛いメスでいろ

はあ
はあ
はあ

はあ

はあ、はあ、んんっ……

ふふふ、蕩けた顔しておって……
そら、お前の好きなおちんぽ様だぞ

いっ

いっ





あ...

ちゅっ

ん...

ちゅっ

ちゅっ

ん...ぺろ...ちゅっ...

すこし休憩したら、またすぐに抱いてやる
メスの悦びをしっかりと感じられるようにな



















